

はすだ 自治連だより

第34号

令和5年2月15日



編集・発行 蓮田市自治連合会

特集 コロナ禍の自治会活動

新型コロナウイルスが未だに収束の目途が立たない中、蓮田市自治連合会の令和4年度役員が選任され、活動がスタートしました。大地震・台風・線状降水帯の発生による風水害など、命の危険が叫ばれていますが、今こそ「ご近所防災」の重要性、自治会の存在意義が高まっています。自治連合会は、今年度の事業活動の中心に『防災・減災活動』を据えて活動を進めています。「災害時避難行動要支援者」支援活動の一環として、各支部で防災セミナーを開催し要支援者を支援する体制を作りました。



蓮田市ホームページ 自治会・自治連合会のページが『リニューアル』

自治会加入率が53%を切る様な状況で、効果的な加入促進策として、市と連携し、市ホームページの「自治会」のページの中に、自治連合会を紹介するページを新設し、主な事業内容等を紹介することができるようになりました。また、市は、「自治会」のページについて、単位自治会の紹介ページ、自治会区域図の紹介など、転入者がよりスムーズに自治会を知り、加入できるようリニューアルしました。



トップ

暮らし・防災

市民活動・自治会活動

自治会

令和4年度自治連合会役員

会長	大塚 武夫	(黒浜・西城)
副会長	小山 晃	(蓮田・見沼町)
副会長	宗像 敬一	(黒浜・蓮田桜台)
副会長	石井 哲彦	(平野・高虫)
常任理事	齋藤 齊	(蓮田・下町親和会)
常任理事	別所 昌江	(蓮田・下関戸)
常任理事	小川 總之輔	(黒浜・椿山4)
常任理事	間ヶ部 隆治	(黒浜・西新宿1・6)
常任理事	関原 達也	(平野・平野団地)
常任理事	内村 栄	(平野・根金3・4区)
会計	澤田 初夫	(蓮田・前口第1)
会計	間ヶ部 隆治	(黒浜・西新宿1・6)
会計	内村 栄	(平野・根金3・4区)
監事	黒澤 久好	(蓮田・久台第2)
監事	伊奈 正光	(黒浜・寺前)
監事	飛田 富男	(平野・根金大山)

コロナ禍の時代を、自治会員の英知と 創意工夫で乗り切る！！

「自治連だより」の紙面の関係で挨拶が遅れましたが、今年度より自治連会長を仰せつかりました。コロナウイルスの真の「終息」には、まだまだ相当の期間がかかります。集会やイベントも出来ない等、今までには考えつかなかった時代がこれからも続くと思います。自治会には、色々な経歴や技能を持っている方がいるかと思っています。今こそ自治会員の英知と創意工夫で、コロナ禍の中での「新しい自治会活動」を模索・創設していきましょう。共に、この困難な時代を乗り切っていくことが肝要と考えます。自治会員の皆様のご協力をお願いいたします。



蓮田市自治連合会長 大塚 武夫

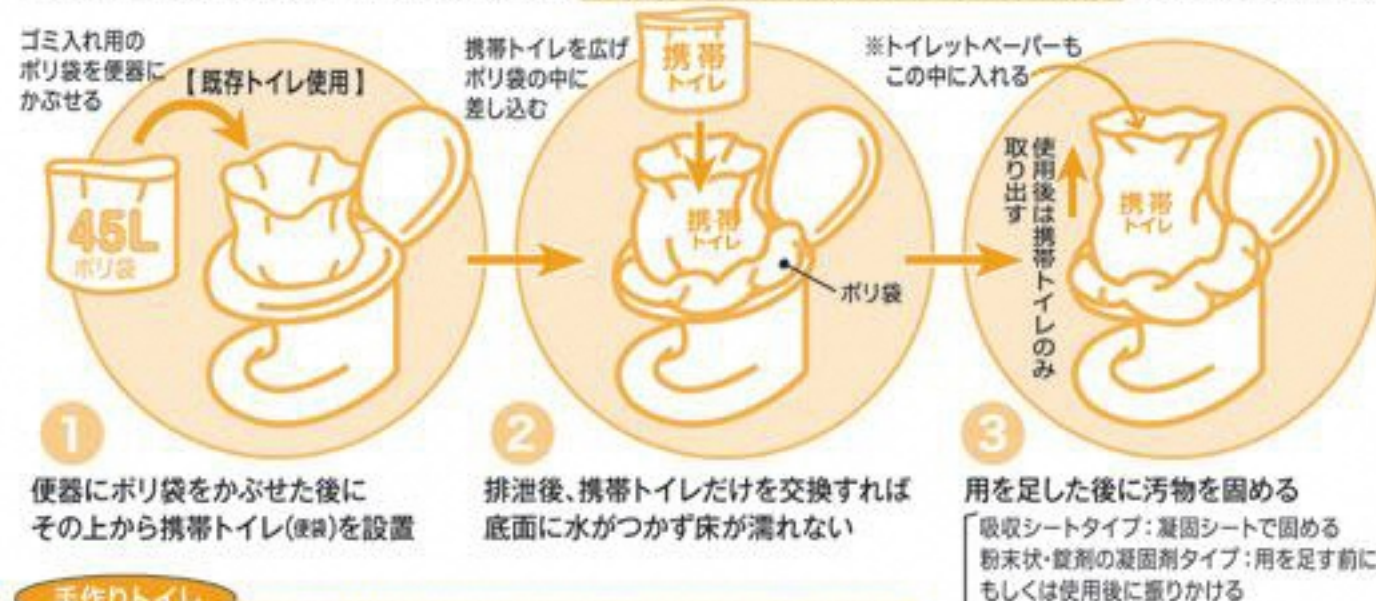
知っ得 情報

情報提供：防災士 斎藤 芳男

突然、トイレが使えなくなった。
大災害時でもなくても、起こり得る事です。

「流す水が出ない(上水道)」 「トイレの汚水が流せない(下水道)」 どうしましょう。
いずれの場合もトイレ空間が安全で便器が使用可能であれば、「携帯トイレ」を使いましょう。

いざ、その時に慌てても遅いです。準備することを「知っててよかった」と思えるように。

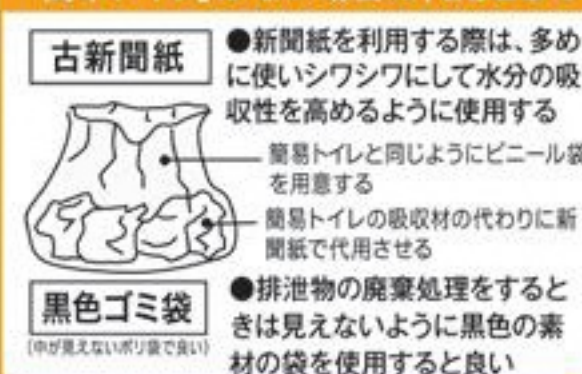


手作りトイレ

自宅便器が使えない… そうであれば自作トイレを作りましょう。
「ダンボールで便座」と市販プラスチックBOXを組み合わせて完成。



「簡単トイレ」がない場合の代用として



密閉できる容器に入れ
収集まで保管する
●ふた付きゴミバケツや
汚物処理専用の保管袋
などを使い、消臭剤も
用意して対処する

注意

●使用済み便袋は、蓮田市のゴミ収集ルールに従って処理対応をしてください
(災害規模によりルールが異なる場合があります)

はすだ自治連だより 第34号

発行 蓮田市自治連合会 編集 蓮田市自治連合会広報委員会

高虫はすびい体操クラブ

「高虫はすびい体操クラブ」は令和3年10月に20名で始めました。誰にでもできる筋力を確保する体操ですが、続けることが大事とのことです。
週1回集まって、約1時間体操を行っています。
笑いも絶えず、心身共に元気になります！



グリーンタウン自治会 初めて『朝市・文化祭』開催！

昨年7月24日(日)、グリーンタウン自治会では初めてとなる「朝市」を開催しました。コロナ禍で当自治会はもとより、市をはじめ殆どの団体の行事が中止となる状況下で、なんとかできる企画はないか？考えた末に思い付いたのが、屋外で出来る「朝市」です。役員で検討を始めたのが5月の末、実行委員会が立ち上がったのが7月初め。しかも、初めての試みであり、どのくらいの人が集まるのか？野菜は十分集まるのか？全てわからない状態からのスタートでした。

家庭菜園をされてる方と、二軒の農家に出品の協力はお願いしましたが、あっという間に明けてしまった梅雨、そして猛暑が続く日々、果たして野菜の収穫量は？など不安だらけのスタートとなりました。当日まで集まる野菜の量は不安でしたが、予想していた以上の量の野菜が集まり、開始前から人が集まりはじめ大盛況となりました。アコーディオンによる演奏が響き渡る中、会員の皆さんは、まるで同窓会のような雰囲気でお話に花を咲かせていました。収穫量が少ないからと、実行委員会に野菜を寄付される人も多く、寄付して頂いた野菜の売り上げは、すべて市を通じて「ウクライナ人道支援」に寄付させて頂きました。



☆ 初めて「文化祭」も開催

今年度の役員は、現役世代が大半を占めていますので前例に囚われることなく新しい発想で各種行事を行い、11月には文化祭も開催いたしました。

3日間にわたって自治会員の絵画や手芸をはじめとする各種作品の展示、最終日には太極拳の演武や各種ダンスのパフォーマンスなどが披露され、これも大盛況に終わることができました。

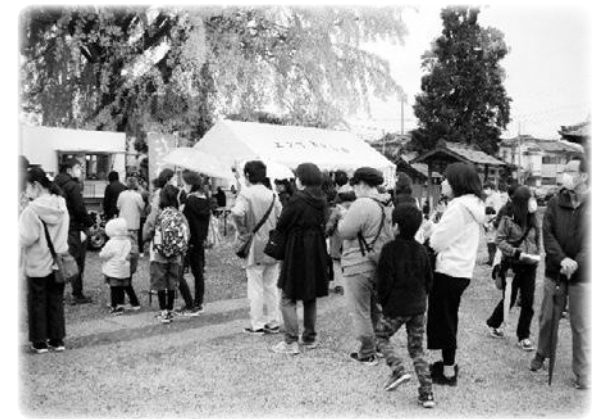


Oh! いちようフェスタ開催

上1・2丁目、見沼町 3自治会合同で開催



11月20日(日)11時から15時まで、須賀神社境内において、『Oh! いちようフェスタ』を開催しました。
上1丁目、上2丁目、見沼町3自治会の主催、蓮田市シルバー人材センターの協力を得て行いました。
当日は、時折小雨がちらつきましたが、多数の方が来場され、色づいたいちようの木の下で晩秋の一日を楽しんでいただきました。来場された自治会員の皆様には会場で使用できる金券を配り、買物の一助としました。
キッチンカーによる肉汁うどん、焼き鳥、たこ焼きと、揚げパン、飲物の販売に加え、野菜の即売会を行いました。
参集殿のステージでは、ボランティアの方々による子どもダンス、フラダンス、津軽三味線、アコーディオン、マンドリン・ギター演奏等が行われ、子供達は輪投げ、射的に熱中しました。コロナ禍であることから、感染防止のため、会場の数ヶ所にアルコール消毒薬を設置するとともに、輪投げ、射的は器具の消毒を心掛けました。



岡の島自治会防災訓練

安否確認訓練や『非常時登録カード』の収集を実施!!

災害は必ずやってきます。コロナ禍で防災訓練実施も難しくなりましたが、岡の島自治会では『非常時登録カード』の収集や『安否確認カード』の掲示訓練を行いました。

■開催日時 2022年11月6日(日)7時30分～11時『非常時登録カード』収集 10月中

■参加者 安否確認訓練 200世帯(91%)『非常時登録カード』提出 214世帯(98%)



■訓練内容

1. 『安否確認カード』掲示訓練 蓮田市自治連合会で作成した『安否確認カード』を各家庭に掲示、班長や防災協力員が確認し、本部に連絡する。
2. 災害対策本部設置訓練 大地震発生を想定し、余震対策を考え岡の島自治会館に近接の黒浜貝塚に大型テント2張を設置、災害対策本部を設置した。
3. 担架を使った「ケガ人搬出訓練」ケガ人を想定した重さ60キロの重りを載せた担架により、大人4人での搬出訓練を実施。持ち上げ方、進み方などお互いに声をかけながら実施した。
4. 災害時に必要な器具の取り扱い訓練 発電機、LED照明器具、バールなど救助用具、油圧ジャッキの説明を受け、実際に手に取って体験を行った。
5. 『非常時登録カード』を収集 災害時に備え、全世帯対象に『非常時登録カード』を配付し収集した。災害発生時に備え、自治会内3か所で保存を行う。

【今回の防災訓練の特徴やこれからの課題】

1. これまで実施した体験訓練と違い、実際に大地震発生を想定した訓練として実施できたことは大きな成果であった。
2. 『非常時登録カード』には多くの会員から提出があったが、支援を必要とする高齢者や乳児の件数が40件にのぼり、今後対応すべき課題となった。
3. 全世帯にアルファ米2袋を配付し、その後アルファ米と非常時簡易トイレの斡旋販売を行い、各家庭の備蓄が充実した。
※ 2年ぶりの防災訓練、会員の関心も高く、防災訓練実施の重要性を体感しました。

